栗くりゆうゆうプラザ

	開設	令和3年度の活動状況				
会場		参 加 人 数			開設期間 曜日・数	講座数
栗橋 小学校	H23. 12	子ども (参加率)	実施委員	サポーター	10/11~12/4 月 10 日、土日 4 日 合計 10 日	14
		130 (22%)	23	40		

1 実施委員長・校長先生からのメッセージ

これからの「ゆうゆうプラザ」を探して

実施委員長 奈良 雄二

地域の皆様、伊藤校長先生様をはじめとする小学校の皆様、保護者の皆様のご支援と ご協力のおかげで令和3年度の閉講が出来ました。感謝申し上げます。

今年度は、コロナウイルス感染予防とスタッフの健康管理について検討をし、関係者の気持ちを大切にして開催しました。体調管理、マスクの着用、三密の防止、換気と消毒の実施を基本とした内容で実施をしました。講座説明は学級で動画を観てもらい、その動画は学校ホームページに公開して募集をしました。月曜日は10月と11月の2ヶ月、土曜日は3ケ月、各講座は活動場所の広さに合わせて定員を決めました。新しい試みとして、参加児童の体温提出、応援体制と衛生担当者を決め「衛生管理表」に基づいて衛生状況の確認、記録を残す等の「見える化」をしました。

これからも果くりゆうゆうプラザの子どもたちが楽しめるように、地域の皆様、小学校の皆様、保護者の皆様ご協力をお願い申し上げます。

地域の人たちに見守られながら育つ子どもたち 校長 伊藤 あゆみ

今年度栗橋小学校に着任し、11年目を迎えた「栗くりゆうゆうプラザ」の充実した取組に大変感激いたしました。子どもたちに楽しい体験と貴重な学びの場を提供し続けてくださっている奈良実施委員長様をはじめとする実施委員の皆様、サポーターの皆様、運営委員の皆様、保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

今年度も、感染症感染拡大が心配される中での開催となりましたが、1学期から綿密な計画を立て、2学期に、放課後10講座、土曜日に4講座、計14講座を開催してくださいました。校庭や体育館で楽しむ運動系の講座から室内で楽しむ文科系の講座まで、どの講座も子どもたちが興味をもって取り組めるものばかりで、ゆうゆうプラザのある日は、朝から子どもたちがわくわくしているのが分かりました。

地域の方に見守られながら育つ子どもたちは幸せです。これからも末永く、「栗っ子」の成長を見守り、支えてくださいますようお願い申し上げます。

2 活動の記録

10.50						
日 付	内 容	日 付	内 容			
5月10日	第一回実施委員会	10月11日	安全管理研修・活動流れ確認			
6月14日	実施委員及び関係者会議	10月11日~	10月 月曜日講座5講座開催			
8月10日	全体会議(指導者参加)	11月8日~	11月 月曜日講座5講座開催			
8月26日	講座紹介ビデオ撮り	10月30日	楽しく走ろう(土曜日講座)			
9月6日	募集チラシ印刷・配布	11月20日	リズムなわとび(土曜日講座)			
9月7~8日	電子黒板で講座紹介	12月4日	ダンスをつくろう(土曜日講座)			
9月13~14日	講座申込受付	12月4日	英語であそぼう(土曜日講座)			
9月下旬~	地域・下校ボランティア募集	12月6日	実施委員会(反省と提案)			
10月4日	実施体制決定・会議で周知	12月10日	総合学習応援(昔あそび)			

- 3 取組みの状況 (コロナ禍での新しい講座運営と新感覚の講座を採用して「無理なく楽しく」)
 - ①10月、11月に3回シリーズで完結する講座を各5講座。また、4回の新しい土曜日講座を計画し講座選択の幅を広くして参加意欲を高める。
 - ②講師、ボランティアの負担を軽減するために「講座応援グループ」、「衛生管理グループ」を設けて個人に負担のかからない講座運営を心がける。計画立案から実施までの基本的な考え方は①、②の方針を「無理なく楽しく」で進めた。

計画立案から実施の流れ

- ●3月中旬~6月下旬・・・コロナ感染拡大下での活動をどのように組み立てるか模索
 - ・コロナ感染拡大状況での運営はどのようにしたら良いか意見交換する。 「講座を実施するか、実施しないか」、「実施した場合の講座は一回限りか、複数回か」、「講師、サポーターの同意が得られなければ中止もあり得る」などの意見あり。
 - ・状況がどのように変わるか分らないので、今後のスケジュールを決めて計画の全体 像が見えるよう準備しておく。
 - ・講師、サポーターにコロナ状況下での参加可否の意向調査を実施し、それによって 開催講座を内定する。
- ●7月上旬~8月上旬・・・理解を得て「協力者をつなぎ止める」
 - •7月上旬、コロナに対する学校の考え方、栗くりゆうゆうプラザの現状説明と進め 方、実施時の協力を依頼する旨を記したハガキをサポーターに向けて出した。
 - ・8月10日に校長、講師、地域サポーターに集合して頂き全体会議を開催。ここで5月から打合せてきた実施計画を説明して承認を得た。
- ●8 月下旬~10 月上旬・・・「新しい試みによる講座募集」と「応援人員配置計画表」
 - ・密になる全体会が出来ないため、講座紹介の方法として電子黒板の活用を学校から 提案頂き、各講師出演による講座紹介ビデオを作成。後日、これが各学級の電子黒 板で放映され、児童は事前配布の募集チラシと共に講座内容を確認することが出 来た。さらにこのビデオと募集チラシが、学校のホームページにアップされたこと で何度でも家庭で確認視聴が可能となった。
 - ・講座の申込は、緊急事態宣言下、2学期開始が2グループに分かれての分散登校となったため、9月13日と14日に分れての受付となった。
 - ・講座応募人数確定後、受付人数、各講座への応援人数、衛生管理人数等を決定し、 全体のサポート体制とその中での各自の役割が一目で分るように一表にした。

<講座実施状況>

●10 月月曜 5 講座 (校庭あそび①、ボッチャに挑戦、絵をかこう、飛ぶものをつくろう、手芸) <写真はボッチャに挑戦> <写真は手芸〉





●11 月月曜 5 講座 (楽しいミニテニス、折り紙、お笑い!漫才に挑戦、絵手紙、校庭あそび②) <写真は楽しいミニテニス> <写真は折り紙>





●土曜講座4講座 (楽しく走ろう、リズムなわとび、ダンスをつくろう、英語であそぼう)〈写真は楽しく走ろう 10/30 開催〉〈写真はダンスをつくろう 12/4 開催〉





●12月10日昔あそび体験授業応援 (竹馬、竹トンボ、ベーゴマ、折り紙、お手玉など) 12月10日に3年生の総合学習授業を実施委員、学校応援団、地域の有志で応援した。 児童(101人)が事前に選んだ2つの昔のあそびを校庭、体育館、教室に分れて体験。





4 今年度の成果と反省・楽しい思い出

令和3年度の活動は、月曜日10講座(10月5講座、11月5講座)、 土曜日4講座(10月、11月、12月)



月曜日講座

- ◆新しい講座、ボッチャに挑戦とミニテニスができた。
- ◆月曜日講座は1講座3回行ったが、毎週なので準備が必要な手芸、折り紙は間をあけた ほうが良かった。
- ◆コロナ禍にもかかわらず、多数の参加者があり、全児童数の 1/4 (例年は 1/3 の参加者)。
- ◆活動日迄、念入りな打ち合わせをし、ゆとりをもって活動に臨めた。 特に気を付けたのは、衛生面で、マスク着用、体温チェック、消毒は勿論、机や椅子の消毒、換気など細心の注意を払った(衛生班を作り、巡回したのが良かった)。
- ◆サポーターの人数も、実施委員を中心に限られた人数で進められた。
- ◆講座紹介をビデオに録り、各教室、ホームページでオンラインの形をとった。この方法 が大変効果があり、児童や保護者にきちんと伝わったようだ。(講座説明の件で、オンラ イン配信を学校側だけにお任せしないで我々も勉強しなきゃと反省)。
- ◆児童は、いろいろ数多く体験出来て良かった。
- ◆講座数が少なかったので、活動場所が纏まっていて良かった。







土曜日講座

- ◆楽しく走うは、マラソンの川内鴻輝さんの指導。楽に楽しく走れるには、ということで 講話や実践等、校庭で汗を流して走った。
- ◆リズム縄跳びは、音楽に合わせて楽しく跳び、全くできない子が跳べるようになり、児 童への声掛けと達成感を味わう指導に感銘した。
- ◆ダンスをつくろうは決められた振りの中に、自分たちで考えた動きを入れる指導で、子供を主体とする指導の素晴らしさを見せていただいた。
- ◆英語であそぼうは国際的な交流をすることができ、ゲームをしたり、クリスマスカード を作ったりして楽しかった。

その他(もっと良いものにするために)

- *下校のやり方が、今までは悩みだったが、今年のやり方は良かった。
- *土曜日講座参加児童の胸に名前を貼ったことが、誰からも見やすく良かった。
- *1年間の活動記録を、1冊のノートに纏めることはとても良い。記録を、誰にでも見てもらえる。
- *次年度は10月、11月、12月でやれたら良いのでは?夏休み前にもどうかという意見があった。